

日本一の地方創生路線を目指して

只見線利活用計画
アクションプログラム2020

福島県 J R 只見線復興推進会議
只見線利活用推進協議会

目次

- 3 只見線利活用計画【概要】
- 4 2020年度取組方針
- 5 目指せ海の五能線、山の只見線プロジェクト
- 6 奥会津景観整備プロジェクト
- 7 只見線学習列車プロジェクト
- 8 奥会津サテライトキャンパス整備プロジェクト
- 9 みんなの只見線プロジェクト
- 10 只見線産業育成プロジェクト
- 11 只見線二次交通整備プロジェクト
- 12 只見線魅力発信プロジェクト
- 13 只見線プラットホーム構築プロジェクト
- 14 沿線自治体等事業一覧
- 19 県関連事業

只見線利活用計画【概要】

目指すべき姿

只見線が日本一の「**地方創生路線**」として、生活路線、観光路線、教育路線、産業路線で利活用されるとともに、それらが循環し成長することで、何度でも乗りたい・訪れたいと思える路線・地域となる。

コンセプト

ここにしかない、**ヒト、モノ、コト、イロ**を活かし、地域の未来を切り拓く -只見線135.2kmの挑戦-

基本戦略

1.魅力の創出と受入環境の整備 2.一元的な情報発信と戦略的なプロモーション 3.地域間連携と推進体制の構築

1 目指せ海の五能線、山の只見線プロジェクト

地域資源を掘り起こし、磨き上げながら、列車内で会津の自然や文化に触れることができる只見線ならではの企画列車を運行する。



2 奥会津景観整備プロジェクト

奥会津の風景を阻害している杉や雑木を伐採し、ビュースポットを整備するなど、奥会津の美しい景観を形成する。



3 只見線学習列車プロジェクト

ダム、自然、暮らし、農業、食、体験など、地域の教育資源を活用しながら、駅や列車内で環境教育や体験学習を行う。



4 奥会津サテライトキャンパス整備プロジェクト

サテライトキャンパスを開設し、公開講座や学生のセミナーハウスなどとして活用することで、地域の拠点となる場を創出する。



5 みんなの只見線プロジェクト

地域の機運を高め、マイルール意識を醸成することで、只見線の利用促進を図るとともに、来訪者へのおもてなしの心を醸成する。



6 只見線産業育成プロジェクト

ガイドの養成や商品開発など、只見線を活用しながら、地域ならではの産業を育成することで、住民が活躍できる場を創出する。



7 只見線二次交通整備プロジェクト

二次交通事業の拡充や駐車場対策により、生活利用、観光利用の両面で、只見線の利用促進を図る。



8 只見線魅力発信プロジェクト

只見線のプロモーションを強化し、ウェブページやSNS、テレビなど、様々な媒体により、地域の魅力を発信する。



9 只見線利活用プラットフォーム構築プロジェクト

只見線応援団を活用しながら、各団体が活動しやすい環境を整備するとともに、住民主体の推進体制構築に向けて土台作りを行う。



2020年度取組方針

【取組テーマ】 四季を通じた只見線の利活用促進

春の新緑、夏の川霧、秋の紅葉、冬の雪景色など、会津地域の四季折々の魅力を生かし、年間を通じた利活用促進を図る。

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ観光需要を喚起するため、住民、企業、行政など、地域が一丸となって、収束後を見据えた柔軟かつ効果的な取組を積極的に実施するとともに、これらの取組を通して、持続可能な地域の魅力作りや二次交通対策、魅力の発信等を進める。

地域資源を生かした「地域の魅力向上」と、地域の魅力向上によって醸成される「鉄道の利用促進」、地域の魅力向上と鉄道利用促進のサイクルによる「地域主体による持続可能な土台づくり」を進め、全国に先駆けた地方創生路線のモデルとして全国に発信する。

【3つの柱】

地域の魅力作り

地域の自然、歴史、食などを生かした魅力作りを進めるとともに、地域ならではのおもてなしを磨き上げ、只見線の魅力向上を図る。

二次交通の強化

バスはもとより、タクシーやレンタカー、自転車など、地域の持続可能なモビリティを検討し、只見線と地域とを繋ぐ二次交通を確保する。

魅力の発信

只見線を軸に、ポータルサイトやパンフレットなど、様々な媒体で只見線と地域の魅力を発信し、国内外の新たな需要を掘り起こす。



1 目指せ海の五能線、山の只見線プロジェクト 観光路線

企画列車の運行 実施者 福島県・只見線利活用推進協議会
 予算額 24,278千円 [福島県]

定期列車内での絶景ポイントの速度低下運転や音声ガイドの放送、地域の特産品等の販売など、只見線ならではのおもてなしを行いながら、只見線の魅力向上を図る。また、令和2年度は団体臨時列車（風っこ）を実証運行し、新たな層の需要喚起を図るとともに、データとノウハウを蓄積し、将来的な通常ダイヤでの定期運行を目指す。



K P I 定期列車での実証事業 9ヶ月間、団体臨時列車 15回・参加者数2,100人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		定期列車でのおもてなし									
			団体臨時列車運行								

(主な関連事業)

J R 只見線活性化事業 [柳津町]

あわまんじゅうの振る舞い等のおもてなしを実施し、只見線の利用活性と次年度以降のイベント列車運行に繋げる。また、柳津町の食、景観、伝統芸能、おもてなしの心をアピールし再訪いただく。

予算額：柳津町 128千円

霧幻峡（三更地区）整備事業 [金山町]

霧幻峡に、より多くの観光客が訪れるよう、金山町三更地区において、観光トイレや船着場などの環境整備を進める。

予算額：金山町 45,318千円

只見線観光路線化実証事業 [只見町]

只見線観光推進専属スタッフを配置するほか、乗客へのおもてなしや、観光ルートの造成、パーク&ライドの実施など、只見線の観光路線化に向けた実証事業を行う。

予算額：只見町 13,500千円

臨時列車の運行 [魚沼市観光協会]

夏休み期間などに、特色ある臨時列車を運行し、沿線の魅力を発信する。

予算額：魚沼市観光協会 未定

2 奥会津景観整備プロジェクト

観光路線

景観の整備	実施者	柳津町、三島町、金山町、只見町、福島県
	予算額	18,000千円[福島県] 500千円[柳津町] 400千円[三島町] 3,000千円[金山町] 2,000千円[只見町]

只見線沿線の四季折々の自然環境を生かし、只見線沿線の美しい景観や車窓からの風景を阻害する景観支障木の伐採を行う。三島町では第一只見川橋梁ビューポイントの遊歩道改修（2期目）を行うほか、福島県では只見線利用者が途中下車により眺望できるビュースポットを整備し、新たな観光拠点の創出を図る。

KPI 伐採・ビュースポットの整備5箇所

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
伐採・ビュースポット等の整備											



(主な関連事業)

ふくしまグリーン復興推進事業 [福島県]

震災以降利用者が減少した自然公園について、国立・国定公園を中心として、環境省との協働による「ふくしまグリーン復興構想」を展開し、環境保全と調和を図りながら適正な利用を促進し、交流人口の拡大を図る。

予算額：福島県 55,865千円

会津柳津駅前公衆トイレ整備 [柳津町]

会津柳津駅利用者の満足度向上を目指し、駅前に利用しやすいトイレを整備する。

予算額：柳津町 29,164千円

会津宮下駅周辺再整備計画策定（2期目） [三島町]

三島町の玄関口となる会津宮下駅において、町内の周遊性や経済効果を生み出す取組を目指し、周辺の再整備計画の策定を行う。併せて、駅前の整備工事を実施していく。

予算額：三島町 6,600千円

観光案内板の改修 [金山町]

観光案内板の整備を行い（2箇所を予定）、観光客の利便性と町内観光スポットへの周遊性を高める。QRコードにより多言語（英語・中国語・台湾語）に対応する案内板とする。

予算額：金山町 2,500千円

3 只見線学習列車プロジェクト

教育路線

学習列車の運行 実施者 福島県・只見線利活用推進協議会
 予算額 17,600千円 [福島県]

インフラ・自然・暮らし・農業・食・体験など、地域の数多くの学習資源を活用し、列車内や沿線地域で特色ある体験学習を実施する。令和2年度は、これまで蓄積したノウハウを基に、県外小学校等からの参加を促進する。

K P I 参加校30校、参加者数1,200人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校や団体等を対象とした学習列車											



(主な関連事業)

十三詣り等を対象とした学習列車 [福島県]

只見線の学習利用を促進するため、十三詣りなど学習や体験を目的に奥会津地域に訪れる団体等の現地活動費等を支援する。

予算額：福島県 3,300千円

会津線・只見線体験事業 [会津若松市]

夏休み期間中、会津若松市内在住の小学校3～6年生を対象に①会津鉄道会津線、②奥会津地域の魅力体験、③JR只見線の乗車体験がセットになったツアーを企画・実施する。

予算額：会津若松市 696千円

只見線アーカイブ [金山町]

只見線の鉄橋等の復旧状況を定点カメラにて定期的に撮影し、町の資料や学習列車の教材としても利用できるようにする。

予算額：金山町 924千円

こども車掌体験 [魚沼市]

夏休み期間など、臨時列車が運行する際に、こどもが車掌の衣装に着替え、切符確認などの車掌業務を体験する。

予算額：魚沼市観光協会 未定

4 奥会津サテライトキャンパス整備プロジェクト

教育路線

首都圏大学生等スタディツアー 実施者 会津大学等
 予算額 - 千円 [会津大学等]

若者や外国人を主な対象とした交流人口を促す目的で、首都圏の大学生等によるスタディツアーを開催する。地域の魅力を学生視点で再発見し、歴史や文化を観光資源として活用していく新しい提案を行う。
 令和2年度は河井継之助や電源開発など、奥会津地域の歴史等をテーマに、現地取材やPR等を行う。

KPI 会津地域の歴史等をテーマとしたパンフレット等の作成

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事前調査、現地取材					ロケ撮影	プラン等の造成	スタディツアー	商品化・PR			



(主な関連事業)

吉本興業との連携 [福島県]

包括連携協定を結ぶ吉本興業と連携し、吉本芸人とのコラボ企画やSNS等での情報発信により、只見線と地域の魅力を全国に届ける。

予算額：福島県 2,800千円

空き家等を活用した移住者受入 [三島町]

奥会津共通の課題である空き家等を活用し、移住体験住宅による移住希望者の受入や補助金の活用による若者の起業支援等、地域の活性化につなげる。

予算額：三島町 11,250千円

多目的共同住宅事業 [金山町]

多目的共同住宅の管理。冬期は一人暮らしの高齢者が共同生活を行う予定であるが、冬期以外は移住者のお試し住宅や大学生のセミナーハウスとして活用が可能。

予算額：金山町 592千円

奥会津・台湾若者国際交流事業 [奥会津五町村活性化協議会]

「只見線」と台湾のローカル線「平溪線」の若者目線での観光モデルコースを企画及びInstagram投稿や写真展示会による交流事業を実施する。

予算額：奥会津五町村活性化協議会 1,451千円

5 みんなの只見線プロジェクト

生活路線

住民による利活用促進 実施者 金山町、只見町
 予算額 3,000千円 [金山町]、3,200千円 [只見町]

住民の只見線復旧に向けた機運を醸成するとともに、只見線の利活用を促進するため、町民の只見線乗車のほか、只見線応援イベントでのノベルティ配付や只見線関連の商品開発など、只見線の利用や活性化につながる取組に対し、費用の一部を補助する。

KPI 只見線利用者数(補助分) 3,200人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
住民への支援等(通年)											



(主な関連事業)

駅前冬季イルミネーション [会津美里町、会津坂下町、柳津町ほか]

只見線の復興と利用者へのおもてなしによる利用促進、地域の活性化に寄与することを目的として、冬期間中、イルミネーション事業を行い、駅前等を美しく彩る。

予算額：会津美里町、会津坂下町、柳津町ほか

職員共助会による運賃助成 [会津美里町、柳津町]

職員による只見線の利用促進を図るため、職員がツアー等で只見線を利用する際に、共助会(互助会)から運賃の助成を行う。

予算額：会津美里町、柳津町ほか

駅周辺の環境整備 [只見町]

ボランティアが駅周辺の花壇やプランターに花を植えるなど、駅周辺の景観整備を行うことで、只見線利用者へのおもてなしを行うとともに、只見線の利用を促進する。

予算額：只見町 3,200千円

だんだんど〜も只見線沿線元気会議 [新潟県、魚沼市ほか]

只見線の復興と存続、沿線地域の活性化に向け、関係機関(県、市、商工会、コミュニティ協議会等)が連携しながら、活性化事業を実施する。

予算額：だんだんど〜も只見線沿線元気会議

6 只見線産業育成プロジェクト

産業路線

受入体制の強化

実施者 金山町、只見町
 予算額 1,600千円 [金山町・只見町]

只見線の全線再開を見据え、観光の連携体制構築を目指す。官民連携で営業活動やツアーの実践、ガイドブック作成など、関係団体の受入体制の連携強化を狙う。

K P I 受入ツアー参加者数 25人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
						受入ツアー					



(主な関連事業)

民間団体等に対する支援 [福島県・只見線利活用推進協議会]

只見線に関わる民間団体等を増加し、関係人口の拡大を図るとともに、地域ならではの産業を育成し、各プロジェクトにおいて相乗効果をもたらすことで、持続的な利活用と誘客促進を図る。

予算額：福島県 2,000千円

ヒメマス寿司販売 [金山町]

沼沢湖に生息する珍しいヒメマスで押し寿司をつくり、会津川口駅で販売する。個数や販売日を限定することでプレミアム感を高め、誘客につなげる。

予算額：金山町観光物産協会

B級グルメ商品開発 [只見町]

只見線の各駅への下車目的を作るため、奥会津地域の食材を活用したB級グルメの開発とブランディング強化を強化する。

予算額：只見町 1,000千円

奥会津食文化再発見事業 [奥会津五町村活性化協議会]

只見線沿線を降りてから奥会津郷土料理の食べ歩きが出来るよう賛同する事業所を認定し、支援等を行う。

予算額：奥会津五町村活性化協議会 1,000千円

7 只見線二次交通整備プロジェクト

只見線と接続する周遊バス運行 実施者 福島県・只見線利活用推進協議会
 予算額 12,147千円 [福島県]

只見線のダイヤを補い、誘客と周遊観光を促すため、訪日外国人や県外から会津若松市を訪れる観光客をターゲットにした、只見線乗車を含む会津若松駅発着の定期観光バスを運行する。また、会津柳津～会津川口間で、只見線のダイヤと接続したバスを運行し、自動車利用者が只見線に乗車できる仕組みを構築する。

KPI バス等利用者数2,000人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実証バスの運行											



(主な関連事業)

駅からサイクリング [三島町]

三島町観光交流館からんころんの電動機付レンタサイクルによって、町にある第1～第3只見川橋梁を巡る周遊コースを設定し、JRの協力の下、首都圏において駅からサイクリングとしてPRを行う。

予算額：三島町 2,360千円

観光タクシー事業 [金山町]

JR只見線の利用者を対象に、町内に点在する観光施設の周遊を促す観光タクシーを運行する。

予算額：金山町 1,500千円

会津田島駅・只見駅間の二次交通 [只見町]

東京（浅草）、日光、鬼怒川方面からの誘客を促進するため、会津鉄道の会津田島駅から只見駅間（国道289号）において観光二次交通事業を実施する。

予算額：只見町 13,970千円

奥会津二次交通確保事業 [奥会津五町村活性化協議会]

インバウンドを中心に奥会津流域の宿泊施設や只見沿線駅を発着とする周遊タクシープランを実施する。

予算額：奥会津五町村活性化協議会 800千円

8 只見線魅力発信プロジェクト

プロモーションの強化 実施者 福島県・只見線利活用推進協議会
 予算額 17,963千円 [福島県]

只見線の全線再開通を見据え、只見線と地域の魅力を国内外へ強くPRするとともに、地域がチャレンジする姿を広く発信し、共感の輪を広げる。地域資源を生かした只見線ならではのおもてなしを磨き上げ、県内外へ広く発信することで、只見線の利活用と地域への誘客を図る。

KPI 夏、秋、冬のプロモーション

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
夏向けPR			秋向けPR			冬向けPR					



(主な関連事業)

「キハちゃん」によるPR活動 [只見線活性化対策協議会]

只見線活性化対策協議会所有の只見線応援キャラクター「キハちゃん」を使用して、只見線のPR活動を実施する。

予算額：只見線活性化対策協議会 (会津坂下町)

只見線を活用した金山町PR事業 [金山町]

奥会津郷土写真家星賢孝氏の写真を活用し、金山町を走る只見線のTVCMを放映し、町のイメージアップを図る。夏と秋の2回に分けて放映し、それにあわせてチラシを作成して誘客を図る。

予算額：金山町 660千円

奥会津伝統文化認知度向上事業 [奥会津五町村活性化協議会]

奥会津の伝統文化である「衣類」に注目し、展示発表と交流の場として試着体験や現在活かされている仕事着を着て「おもてなし」として外へ発信する。

予算額：奥会津五町村活性化協議会 3,000千円

奥会津博覧会「オク博」の開催 [只見川電源流域推進協議会]

奥会津の価値の商品化や人と人が出会う場の創出として広域交流・観光の商品造成を行う。

予算額：只見川電源流域推進協議会 7,260千円

9 只見線プラットフォーム構築プロジェクト

只見線ガイドブックの制作 実施者 只見線利活用推進協議会
 予算額 8,994千円 [福島県]

只見線の魅力や地元の取組の集大成である只見線ガイドブックの制作を通して、市町村や只見線の利活用に関する取組を行っている団体、協力者になり得る住民等と協働しながら、新たな周遊ルートの開発や地域の魅力の掘り起こし・磨き上げを行う。

KPI 只見線ガイドブックの制作・配付 (A4、32ページ、10万部発行)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
		ガイドブックの制作作業									発行・配付	



(主な関連事業)

只見線応援団に対する情報発信 [福島県・只見線利活用推進協議会]

全国の只見線応援団に対して、広報誌を通して只見線の復旧状況や地元の取組、イベント情報等を届け、支援の輪を広げるとともに、地域への誘客を図る。

予算額：福島県 2,388千円

地域コーディネーター活動 [福島県]

地域の幅広い方々の橋渡し役を担う、只見線地域コーディネーターを中心に、只見線の復旧に向けた機運を醸成するとともに、地域一体となった利活用促進を図る。

予算額：福島県 - 千円

只見線応援団の募集 [JR只見線復興推進会議]

只見線の早期復旧と利活用促進を図るため、県、会津17市町村において、只見線の復旧に心を寄せていただく応援団の会員を募るとともに、只見線の利活用を促進するための広報活動を行う。

予算額：JR只見線復興推進会議

只見線活性化シンポジウム [だんだんど～も只見線沿線元気会議]

只見線の全線再開通に向け、只見線の利活用と沿線地域の活性化を図るための意見交換を行う。

予算額：だんだんど～も只見線沿線元気会議

只見線利活用計画 アクションプログラム2020 (沿線自治体等事業一覧)

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
1	会津若松市	会津線・只見線体験事業	夏休み期間中、会津若松市内在住の小学校3～6年生を対象に①会津鉄道会津線、②奥会津地域の魅力体験、③JR只見線の乗車体験がセットになったツアーを企画・実施する。	696
2	会津美里町商工会	駅前冬季イルミネーション	会津高田、新鶴駅前において冬季イルミネーションによるおもてなしを行い、只見線利用者に沿線地域への集客を図る。	32
3	会津美里町	会津美里町職員共助会による只見線応援事業	只見線の利用促進を図るため、会津美里町職員共助会員（家族を含む）が只見線を利用した際の運賃を助成する。	-
4	会津坂下町	駅前イルミネーション	只見線の復興と利用者のおもてなしによる利用促進、地域活性化に寄与することを目的として、町内事業者等から協賛金と集め、冬期間（12月～1月）に会津坂下駅前をはじめ町内を美しく彩る。	-
5	只見線活性化対策協議会	只見線応援キャラクター「キハちゃん」によるPR活動	協議会所有の只見線応援キャラクター「キハちゃん」を使用して只見線のPR活動を実施。	-
6	柳津町	JR只見線活性化事業	あわまんじゅうの振る舞い等のおもてなしを実施することで、只見線の利用活性と次年度以降のイベント列車運行に繋げる。また、柳津町の食、景観、伝統芸能、おもてなしの心をアピールし観光客として再来していただくことを目的とする。	128
7	柳津町商工会	ライトアップ事業	会津柳津駅前から圓蔵寺周辺の桜のライトアップによりおもてなしを行い、集客を図る。	200
8	柳津町	会津柳津駅前公衆トイレ整備	駅利用の満足度向上を目指し利用しやすい観光地のトイレを整備する。	29,164
9	柳津町	只見線沿線景観整備	只見線沿線の景観や車窓風景を阻害する景観支障木の伐採等により、只見線の美しい景観を形成する。	500
10	霊まつり流灯花火大会事業実行委員会	霊まつり流灯花火大会事業	花火大会を通して観光客の誘客、只見線の利用促進を図る。	1,300

只見線利活用計画 アクションプログラム2020 (沿線自治体等事業一覧)

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
11	三島町	駅からサイクリング	会津宮下駅周辺にある三島町観光交流館からんころんの電動機付レンタサイクルによって町にある第1～第3只見川橋梁を巡る周遊コースを設定し、JRの協力の下、首都圏において駅からサイクリングとしてPRを行う。	2,360
12	三島町	会津宮下駅周辺再整備計画策定	第1只見川橋梁の撮影する来訪者や只見線乗車の為の観光バスが近年多くなり、玄関口となる会津宮下駅において、町内他の施設等への周遊性を高める取組や経済効果を生み出す取組を目指し、周辺の再整備計画の策定を行う。併せて、駅前の整備工事を実施していく。	6,600
13	三島町	二次交通対策町営周遊バス運行業務	会津宮下駅から第1只見川橋梁までのバス運行を実施しており、継続していくと共に、レンタサイクルがなくなる冬期間において町営バスによる周遊観光バスの運行を実施する。	400
14	三島町	第1只見川橋梁ビューポイント遊歩道改修(2期目)	冬を含めて年間通して観光客の訪れる第1只見川橋梁において、冬期間の散策における滑落等の危険性が高く、新たな手摺の設置を実施する。	400
15	金山町	霧幻峡(三更地区)整備事業	霧幻峡に、より多くの観光客が訪れるよう、金山町三更地区において、観光トイレなどの環境整備を進める。	45,318
16	金山町	只見線を活用した金山町PR事業	奥会津郷土写真家星賢孝氏の写真を活用し、金山町を走る只見線のTVCMを放映し、町のイメージアップを図る。夏と秋の2回に分けて放映し、それにあわせてチラシを作成して誘客を図る。	660
17	金山町観光物産協会	ヒメマス寿司販売	沼沢湖に生息する珍しいヒメマスで押し寿司をつくり、会津川口駅で販売する。個数や販売日を限定することでプレミアム感を高め、誘客につなげる。	-
18	金山町	観光案内板の改修	金山町において、観光案内板の整備を行い(2箇所を予定)、観光客の利便性を高め、町内観光スポットへの周遊性を高める。QRコードにより多言語(英語・中国語・台湾語)に対応する案内板とする。	2,500
19	金山町	観光タクシー事業	JR只見線の利用者を対象に、町内に点在する観光施設の周遊を促す観光タクシーを運行する。	1,500
20	金山町	文化財整備事業	金山町の文化財となっている施設の整備を行う。町の文化財施設の再整備を行うことで観光客が訪れる場所とする。	20,000

只見線利活用計画 アクションプログラム2020 (沿線自治体等事業一覧)

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
21	金山町	只見線沿線景観整備事業	沿線の風景維持のための支障木伐採事業。平成31年度には眼鏡橋付近を伐採。令和2年度も計画に従って伐採を実施する。	3,000
22	金山町	只見線アーカイブ	只見線の鉄橋等の復旧状況を定点カメラにて定期的に撮影し、町の資料や学習列車の教材としても利用できるようにする。	924
23	金山町	多目的共同住宅事業	多目的共同住宅の管理。冬期は一人暮らしの高齢者が共同生活を行う予定であるが、冬期以外は移住者のお試し住宅や大学生のセミナーハウスとして活用可能。	592
24	金山町	JR只見線復旧応援事業	「只見線のりのり倶楽部事業」により、町民の只見線乗車促進のほか、町のイベントに只見線を利用して訪れた観光客にノベルティ等を用意するなど、只見線の利用促進を図る。	3,000
25	金山町	地域特産品等ブランディング化事業	金山町にある多くの特産品等を活用し、観光客向けのおみやげとして商品ブランディング化を図るため、営業方法や販売方法を改良する。	1,000
26	金山町	乗合タクシー運行事業	JR只見線、会津バスと共に、金山町の地域公共交通機関としての役割を担う乗合タクシーを運行する。一部の便は、住民だけではなく、観光客等も利活用が可能。	33,341
27	金山町	金山町観光情報センター運営事業	金山町の玄関口である会津川口駅の構内で観光PRを行う。	4,903
28	只見町	只見線観光路線化実証事業	只見線観光推進専属スタッフを配置するほか、乗客へのおもてなしや、観光ルートの造成パーク＆ライドの実施など、只見線の観光路線化に向けた実証事業を行う。	13,500
29	只見町	只見線沿線景観整備事業	只見線沿線の景観や車窓風景を阻害する景観支障木の伐採や、只見線利用者が途中下車により眺望できるビュースポット整備により、新たな観光拠点の創出を図る。	2,000
30	只見町	JR只見線利用促進等事業	ボランティアが駅周辺の花壇やプランターに花を植えるなど、駅周辺の景観整備を行うことで、只見線利用者へのおもてなしを行うとともに、只見線の利用を促進する。	3,200

只見線利活用計画 アクションプログラム2020 (沿線自治体等事業一覧)

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
31	只見町	B級グルメ商品開発事業	只見線の各駅への下車目的を作るため、奥会津地域の食材を活用したB級グルメの開発とブランディング強化を強化する。	1,000
32	只見町	定期路線ワゴン自然首都・只見号運行事業	東京（浅草）、日光、鬼怒川方面からの誘客を促進するため、会津鉄道の会津田島駅から只見駅間（国道289号）において観光二次交通事業を実施する。	13,970
33	只見町	J R 只見線利用促進実行委員会	只見線のPRイベントを開催し、只見線の魅力を伝えるとともに、只見線応援団の募集を行う。	500
34	だんだんど～も 只見線沿線元気 会議	だんだんど～も只見線沿線元気 会議	只見線の復旧と存続、沿線地域の活性化に向け、関係機関（県、市、商工会、コミュニティー協議会等）が連携しながら、活性化事業を実施する。	未定
35	だんだんど～も 只見線沿線元気 会議	（仮称）うたごえ特別列車の運 行	只見線に関連する歌手等を招聘し、乗客と共にうたごえで、只見線の活性化を図る。	150
36	だんだんど～も 只見線沿線元気 会議	只見線活性化シンポジウム	只見線の全線再開通に向け、只見線の利活用と沿線地域の活性化を図るための意見交換を行う。	250
37	だんだんど～も 只見線沿線元気 会議	只見線で行く紅葉ツアー	小出-只見間の紅葉と、石川雲蝶の彫刻や目黒邸などの文化遺産等を巡るツアーを敢行し、沿線の魅力を再確認する。	150
38	だんだんど～も 只見線沿線元気 会議	雪灯りで只見線を応援しよう	2021個の雪灯籠を募るボランティアを募り、作り上げ、全線復旧に向け只見線の利活用の機運を高める。	100
39	魚沼市観光協会	こども車掌体験	臨時列車が運行する際に、こどもが車掌の衣装に着替え、切符確認などの車掌業務を体験する。	未定
40	魚沼市観光協会	臨時列車の運行	夏休み期間など、特色ある臨時列車を運行し、沿線の魅力を発信する。	未定

只見線利活用計画 アクションプログラム2020 (沿線自治体等事業一覧)

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
41	奥会津五町村活性化協議会	奥会津伝統文化認知度向上事業	奥会津の伝統文化である「衣類」に注目し、展示発表と交流の場として試着体験や現在活かされている仕事着を着て「おもてなし」として外へ発信する。	3,000
42	奥会津五町村活性化協議会	奥会津二次交通確保事業	インバウンドを中心に奥会津流域の宿泊施設や只見沿線駅発着とする周遊タクシープランを実施する。	800
43	奥会津五町村活性化協議会	奥会津食文化再発見事業	只見線沿線を降りてから奥会津郷土料理の食べ歩きが出来るよう賛同する事業所を認定し支援等を行う。	1,000
44	奥会津五町村活性化協議会	奥会津・台湾若者国際交流事業	「只見線」と台湾のローカル線「平溪線」の若者目線での観光モデルコースを企画及びインスタグラム投稿や写真展示会による交流事業を実施する。	1,451
45	只見川電源流域推進協議会	奥会津博覧会「オク博」の開催	奥会津の価値の商品化や人と人が出会う場の創出として広域交流・観光の商品造成を行う。	7,260

只見線利活用計画 アクションプログラム2020 (県関連事業一覧)

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
1	地域振興課	新編「歳時記の郷・奥会津」活性化事業	「人が住み、集まる魅力的な奥会津」を基本理念として、本県を代表する水力発電地域である只見川流域7町村が実施する電源地域振興事業を支援することにより、当該地域の産業の確立、雇用の確保を図る。	191,537
2	地域振興課	福島に住んで。交流・移住推進事業	地域の担い手となる人材を確保するため、交流人口や関係人口の拡大を図りながら、本県の魅力の情報発信及び移住者等の受入体制を強化するとともに、市町村等が行う受入環境整備の取組を支援するなど、本県への移住促進を図る。	178,422
3	地域振興課	地域創生総合支援事業	住民主体の個性と魅力にあふれる地域づくりを推進するため、市町村・民間団体等が実施する地域活性化の取組を支援するとともに、地方振興局を中心とする出先機関が、地域課題に機動的かつ柔軟に対応するため、地域の実情に応じて事業を企画・実施する。	896,366
4	地域振興課	奥会津地域おこし協力隊設置事業（小事業名）	奥会津五町村活性化協議会に地域おこし協力隊を配置し、少子高齢化が特に著しい奥会津地域の活性化を促進する。	12,618
5	生活交通課	生活路線バス運行維持のための補助（通常）	国の地域公共交通確保維持改善事業と協調して、モータリゼーションの進展により、存続の危機に瀕している地域の交通手段を確保するために一体的、継続的に幹線系統を支援することで、県民の生活の足を確保していく。	129,227
6	生活交通課	生活路線バス運行維持のための補助（特例）	国の地域公共交通確保維持改善事業の被災地特例措置と協調して、モータリゼーションの進展により、存続の危機に瀕している地域の交通手段を確保するために一体的、継続的に幹線系統を支援することで、県民の生活の足及び東日本大震災により避難を余儀なくされた被災地住民の足を確保していく。	155,080
7	生活交通課	市町村生活交通対策のための補助	地域の実情に即し主体的に乗合バスの運行などの生活交通対策事業を行う市町村を支援することにより、県民の日常生活に必要な交通手段の確保を図る。	150,701
8	生活交通課	ふくしま地域公共交通強化支援事業	地域の実情に応じ、地域住民等と連携した新たな交通施策の取組を実施する市町村を支援する。	46,305
9	只見線再開準備室	「地方創生路線」只見線利活用プロジェクト	JR只見線の全線復旧を見据え、会津地域が一丸となって只見線利活用計画で位置付けた各プロジェクトを推進し、低迷している只見線利用者数を増加させるとともに、只見線を活用した地域振興を図る。	80,803
10	只見線再開準備室	JR只見線復旧事業	不通となっているJR只見線会津川口駅～只見駅間の鉄道復旧による利便性向上と只見線を核とした地域振興を図るため、JR東日本が実施する復旧工事に要する費用の補助等を行う。	1,724,515

只見線利活用計画 アクションプログラム2020 (県関連事業一覧)

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
11	自然保護課	ふくしまグリーン復興推進事業	震災以降利用者が減少した自然公園について、国立・国定公園を中心として、環境省との協働による「ふくしまグリーン復興構想」を展開し、環境保全と調和を図りながら適正な利用を促進し、交流人口の拡大を図る。	55,865
12	自然保護課	スタートアップふくしま尾瀬事業	本県のかげがえのない宝である「ふくしま尾瀬」において、交流人口の拡大や地域の活性化を目的として、アクティビティの開発やアウトドアイベントの開催、きめ細やかな情報発信を通して、ターゲットである若年層やインバウンド客が訪れるきっかけを創出する。	55,600
13	観光交流課	ふくしま体験周遊受入体制整備事業	旅行者が、観光・温泉・食など、地域の魅力ある観光地を周遊できるよう、地域の「総合案内」体制づくりと体験コンテンツ等の磨き上げを図り、地域活性化と自走化を目指す。	15,355
14	観光交流課	ふくしまDMO推進プロジェクト事業	本県観光の再生と観光による地域づくりを進めるため、戦略的な観光による地域づくりの中核を担い、専門性の高いマーケティングを行う「日本版DMO」の形成、確立を支援するとともに、福島の特長をいかした新しい人の流れ「ホープツーリズム」を推進する。	40,633
15	観光交流課	福が満開福のしま観光復興推進事業	東京オリパラや東北DCなど、重要な出来事が続くこの好機を捉えて、全国新酒鑑評会金賞受賞数7年連続日本一の日本酒や多彩な食、ホープツーリズムやサムライ精神といった、本県ならではの強みを生かした観光コンテンツの造成や、魅力発信を行うとともに、地域素材の磨き上げや「稼ぐ力」の強化に向けた支援を行う。	576,173
16	観光交流課	福島インバウンド復興対策事業	本県のインバウンドの拡大と地域活性化に向け、体験コンテンツの充実や人材育成など受入体制の整備を進めるほか、重点国・地域におけるマーケティングに基づく市場別のニーズをとらえ、復興五輪を好機にインバウンド誘客に向けたプロモーションを戦略的に展開する。	712,182
17	観光交流課	東京オリパラ観光誘客促進事業	東京オリンピック・パラリンピックを契機に外国人観光客の増加が見込まれることから、おもてなし環境の整備を促進するための事業者向け説明会を開催し、リピーターの確保と消費拡大を図る。また、関東圏との連携によるメディア招請やSNSを活用した広域観光プロモーションにより広域周遊を促進する。	6,409
18	観光交流課	教育旅行復興事業	教育旅行の復興のため、本県で宿泊を伴う旅行を実施する県外の学校に対し、移動に係るバス経費の一部補助を行うとともに、教育旅行誘致キャラバンや情報発信等を行う。また、長期宿泊需要の見込まれる学生の合宿の誘致を図る。	303,851
19	観光交流課	「ふくしまプライド。」ツーリズム推進事業	「ふくしまプライド。」をブランドコンセプトとし、県産農産物等の安全性やクオリティの高さ、誇りをもって旅行者をお迎えする飲食店、旅館、農園等、観光事業者の顔に見えるストーリーを新たな観光の魅力として、本県が誇る多彩な「食」をフックとした新しい観光誘客を図る。	20,000
20	観光交流課	人気キャラクターを活用したふくしまスマイル事業	世界的に認知度の高いキャラクターを活用して、広域周遊企画や地域鉄道の利用促進、アプリやSNSを利用した観光イベントを開催し、主に若年層、ファミリー層の誘客を図る。	20,804

只見線利活用計画 アクションプログラム2020 (県関連事業一覧)

整理番号	実施者	事業名	概要	予算額 単位：千円
21	空港交流課	福島空港復興加速化推進事業	国際線の新規路線開設と定期路線再開、国内線の定期路線維持・拡充、空港の特色づくり、交流人口の拡大に向けた各種事業を展開し、福島空港の交流ネットワーク基盤強化を図る。	399,632
22	県産品振興戦略課	「ふくしまプライド。」発信事業	風評払拭と本県のイメージ回復を図るため、日本一となった「ふくしまの酒」や味噌・醤油など、本県が国内外に誇る県産品の魅力を「ふくしまプライド。」というメッセージを通して力強く発信し、販路の開拓・拡大、小売店の販売促進及び本県ブランド力の向上を図る。	120,587
23	県産品振興戦略課	東京2020ふくしまフード・クラフト発信事業	県内東京オリンピック競技会場及び県内外の東京オリパラ関連イベントにおいて、日本一の「ふくしまの酒」を始めとする県産品のPR・販売、伝統工芸品及び世界的デザイナーと協働開発した商品等の展示・販売を行い、県産品の魅力を国内外に強く発信する。	12,702
24	まちづくり推進課	奥会津地域活性化推進事業	奥会津地域では、大規模なインフラ整備が進むとともに歴史的な土木構造物も多いことからインフラ施設を観光資源として活用し地域活性化を図る。併せて只見川沿川の四季折々の美しい景観を眺望できるビュースポットを整備し、新たな観光拠点の創出を図る。	18,000
25	まちづくり推進課	元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業	地域資源を活用した住民主体の地域づくりを支援するため、地域づくり団体・市町村とともに交流人口の拡大に結びつく戦略を策定し、ソフト・ハードの両面からの地域活性化を図る。	9,000